

だれもが輝く社会へ



2023年4月の 神奈川県議選(藤沢市)に おだ幸子^{さちこ}氏を公認

中小企業診断士 | 大学院客員教授

1969年生まれ●藤沢市辻堂東海岸に在住●党県女性局次長●藤沢総支部副総支部長●明治大学政治経済学部を卒業後、大手損害保険会社に29年間勤務●技術経営修士(MOT)●日本工業大学専門職大学院 客員教授●家族は介護士の夫、高校生の息子、愛犬、ハリネズミ●趣味はドライブ、読書、ものづくり

公明党は、2023年4月の神奈川県議選(藤沢市)の予定候補者として、新人の「おだ幸子」氏を公認しました。同氏は、大手損害保険会社で勤務しながら、中小企業診断士の資格と技術経営修士の学位を取得し、専門職大学院の客員教授としても社会の第一線を走る女性リーダー。「渡辺均県議からバトンを受け継ぎ、だれもが輝く社会を目指して頑張りたい」と決意しています。



藤沢総支部ニュース

2023新春号

おだ幸子
VISION

藤沢の新しい未来をひらく

中小企業診断士の 「おだ」だからこそ!

働くひとの力になるまち藤沢 にします!

- 神奈川産業振興センター(KIP)と地域の商工会議所の連携を強化し、円滑な事業承継や販路拡大など、より中小・小規模事業者に寄り添った支援の拡充。
- ライフイベントに左右されない女性の活躍のため、キャリアデザインサポートセンター(仮称)を設置し、デジタル人材育成やリカレント(学び直し)教育、シングルマザー支援を拡充。

がんを乗り越えた 「おだ」だからこそ!

健康・長寿のまち藤沢 にします!

- 高校生までの子ども医療費の無償化。
- 県立がんセンターの体制強化とがん先進医療の研究・開発を進め、がんの早期発見と患者にあった適切な治療、費用負担の軽減を推進。
- 企業誘致に力を入れ、先進医療の研究拠点を創出。

災害現場を歩いてきた 「おだ」だからこそ!

安心安全のまち藤沢 にします!

- 豪雨災害から命を守るため、さらなる河川改修・貯留池などの整備。
- 現在、市内2ヶ所の津波避難タワーを増設し、観光シーズンにも対応できる避難場所・通路の確保と整備を推進。
- 渋滞緩和のため、藤沢駅・辻堂駅周辺や海岸沿いなど交通量の多いエリアを中心にスマートAI信号機の設置を推進。

家族の難病、 介護・看護を経験した 「おだ」だからこそ!

全てのひとに寄り添うまち藤沢 にします!

- 学習障がい(ディスレクシアなど)の早期発見・理解促進のため、就学前検診体制の拡充や教職員への研修制度の充実、デジタル教科書の積極的活用を実施。
- 児童虐待対策のため、児童相談所と県療育センターの人員増加を図るとともに、新たな県療育センターを増設。



公明党 藤沢総支部の 主な実績

教育・子育て



✓ 中学校給食の全校実施を実現

成長期の中学生にとって栄養のバランスがとれた健全な食生活を送ることは極めて重要。また、食育という観点からも、公明党市議団は中学校における給食実施を訴え続けてきました。結果、家庭からの弁当持参かデリバリー方式給食(栄養士が作成した献立に従って民間業者が調理し配送する方法)の「選択制中学校給食」が2019年11月から全校で実施されました。

✓ 「いじめ」対策の拡充

「いじめ」に関する24時間365日対応可能な電話相談「いじめ相談ホットライン」を開設。また、「いじめ相談機関紹介カード」を全児童・生徒に配布するとともに、2014年度には、「藤沢市いじめ防止条例」の制定をリードしました。さらに、2021年度には市立学校の児童・生徒に一人一台配付した端末のアカウントを活用する「藤沢市子ども相談フォーム」を導入。これは、つらい思いを抱えている児童・生徒の相談支援につなげられたり、嫌なことをされている児童・生徒の情報を報告したりすることができるもので、このような活用は全国でも先駆的な取り組みとなっています。

✓ 中学生までの「子ども医療費無償化」を実現

多くの切実なお声を受け止め、公明党市議団は子どもの未来を守るため、中学校卒業までの医療費無償化を市へ訴え続けてまいりました。その結果、2019年4月から中学生までの医療費無償化(入院・通院含む)が開始。2023年4月受診分からは所得制限が撤廃されます。今後は高校生までの無償化を強力に推進してまいります。



鈴木市長に対し、64項目にわたる要望書を提出した公明党藤沢市議団

医療・福祉・介護



✓ 認知症の予防や早期発見の総合対策である「藤沢おれんじプラン」の策定を推進

公明党は認知症対策を全国でリードし、藤沢市でも全力で推進しています。認知症簡易チェックサイトの導入や、誰もが足を運びやすい「認知症カフェ」を開設し看護師や専門職と自然に対話できる環境整備を行いました。また、認知症予防体操「コグニサイズ」の講座も提案し、定期的に開催。総合対策である「藤沢おれんじプラン」の策定にも取り組み、認知症対策を強力に推し進めています。

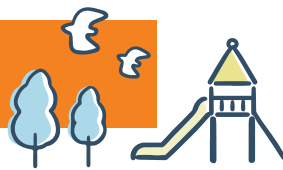
✓ 乳がん患者のアピアランスケア支援として、ウィッグや胸部補正具の購入費補助を推進

がん治療によって生じた脱毛など外見(アピアランス)の変化は、大きな心理的苦痛を伴います。公明党市議団はその支援(ケア)のため、ウィッグなどの購入費用を補助する制度を訴え続け実現が決定。来年度から実施される方向で検討されています。

✓ 市民に寄り添う「オーダーメイド型相談支援」を拡充

育児・学習・就労・家計・医療・介護・福祉など、様々なお悩み事を1ヶ所で相談できる地域生活支援窓口「バックアップふじさわ」を2016年に開設。相談者に寄り添ったオーダーメイド型の支援を受けることができ、現在は市役所・湘南台文化センター・社会福祉協議会の3ヶ所で行っています。さらに、よりきめ細やかな対応ができるよう、身近な地域での相談や各関係機関への橋渡しを行う「コミュニティソーシャルワーカー」も市内全13地区に配置しました。

まちづくり



✓ 国道134号線の渋滞緩和のため「江の島大橋」の3車線化を実現

公明党の強みであるネットワークを生かし、国会議員と地方議員が連携して実現。渋滞緩和は観光客のみならず、地元住民の暮らしの改善にも大きく寄与しています。

✓ 障がい児も遊べる「インクルーシブ遊具」の設置を実現

2021年3月、秋葉台公園に障がいの有無にかかわらず誰もが一緒に遊べる「インクルーシブ遊具」が県内で初めて設置されました。これは、設置に向け活動されていた市民団体の方とともに推進し実現したもの。子どもたちが障がいの垣根を越えて遊ぶことができ、親同士のコミュニケーションを深めるきっかけにも繋がっています。

✓ ロケツーリズムの支援機関(コミッション)設立の推進

藤沢市は2022年、国内外のアニメファンが投票する「訪れてみたい日本のアニメ聖地88」において最も人気のある舞台に選ばれました。その原動力となったのが、「湘南藤沢フィルム・コミッション」です。映画やテレビ番組のロケを積極的に誘致し作品の制作を支援する役割を担っており、地域の魅力発信や、舞台となったロケ地を「聖地」として巡る「ロケツーリズム」を後押しし、地域観光の活性化に貢献しています。公明党市議団は、このコミッションの設立に尽力し、以来20年以上にわたって推進してきました。

藤沢市議選には新人2名を含む5名を公認



つかもと
塚本まさき(現)

藤沢総支部副総支部長
●市議5期●市議会副議長、各委員会委員長を歴任



ひがしき
東木ひさよ(現)

藤沢北支部支部長●市議3期●湘南台アートスクエアプロジェクト顧問●おれんじウエルネスCLUB代表



ひらかわみか
平川和美(現)

藤沢北支部副支部長●市議2期●防災士●ピンクリボンアドバイザー(初級)●ユニバーサルマナー検定2級



まつお
松尾ひろゆき(新)

藤沢中央支部副支部長●拓殖短期大学経営学科卒●短大卒業後、演劇活動を主宰●大手クリーニング会社に入社し、工場リーダーとして現在に至る



いまい
今井みきこ(新)

藤沢南支部副支部長●長野県短期大学家政学科卒●栄養士●2男1女の母●趣味:映画観賞、読書